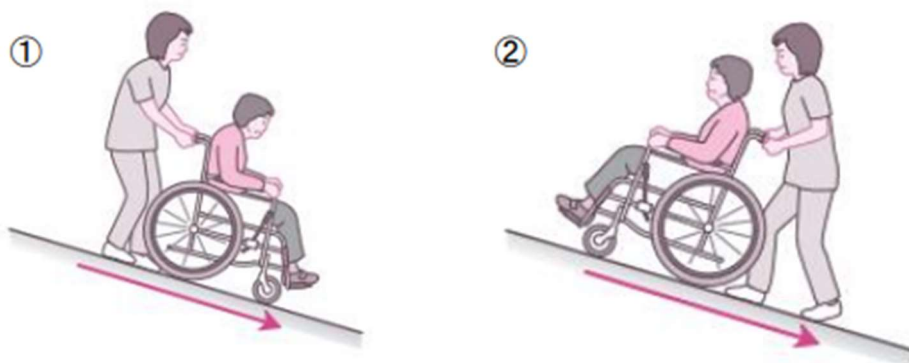


1. 全介助が必要な利用者を介護するときは、利用者が持っている能力を活かしません。
2. 介護職は、目が見えない人に話しかけると、先からだに触ってはいけません。
3. 介護職は、嫌な利用者と話さなくてもよいです。
4. 高齢者は、からだに水分量が多いので、脱水になりにくいです。
5. 自分で歯磨きができる利用者には、自分で歯磨きをしてもらいます。
6. 利用者の衣服が汚れたら着替えてもらいます。
7. 介護職は、急な坂道を下るとき、車いすの向きは①がよいです。



8. 利用者は臥床の時間が長くなると、歩く力が弱くなります。

9. 食事介護のとき、利用者が誤嚥しやすい姿勢は②です。



10. 臥床の状態が長い利用者は、栄養が足りないと、褥瘡ができることがあります。

11. 利用者が入浴できないときは、清拭をします。

12. 入浴は、からだを温め、血液の流れをよくします。

13. 排泄物には、便、尿、汗があります。

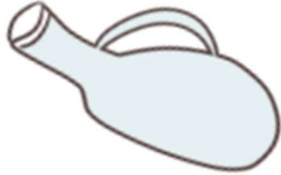
14. 介護職は、利用者の居室で排泄の介護をするとき、カーテンを閉めます。

15. これは、利用者が寝ている状態でお風呂に入れる機械です。



16. 利用者<sup>りようしゃ</sup>の物<sup>もの</sup>を整理<sup>せいり</sup>するとき、利用者<sup>りようしゃ</sup>に聞き<sup>き</sup>ながら整理<sup>せいり</sup>します。

17. これは、女性用<sup>じょせいやう</sup>の尿器<sup>にようき</sup>です。



18. ティッピングバーは、介護職<sup>かいごしょく</sup>が踏<sup>ふ</sup>んでキャスター<sup>も</sup>を持ち<sup>あ</sup>上げるため<sup>ため</sup>にあります。

19. 介護職<sup>かいごしょく</sup>は、事故<sup>じこ</sup>が起<sup>お</sup>きたとき事故<sup>じこ</sup>の原因<sup>げんいん</sup>を考<sup>かん</sup>えます。

20. 介護職<sup>かいごしょく</sup>は、点滴<sup>てんてき</sup>を行<sup>おこな</sup>うことができます。

かいごぎのうじっしゅうひょうか しけん  
介護技能実習 評価試験  
Kaigo ginō jisshū hyōka shiken

(しよきゅう) がっか しけんもんだい かいとうようし  
【初級】学科試験問題 解答用紙  
【Shokyū】 Gakka shiken mondai kaitō yōshi

じゅけんばんごう 受検番号 Juken bangō	
なまえ かたかな 名前 (カタカナ) Namae (Katakana)	

もんだいばんごう 問題番号 Mondai yōshi	こた 答え Kotae
1	
2	
3	
4	
5	
6	
7	
8	
9	
10	

もんだいばんごう 問題番号 Mondai yōshi	こた 答え Kotae
11	
12	
13	
14	
15	
16	
17	
18	
19	
20	